

2025 年 7 月 16 日

(ご参考: プレスリリース日本語訳)

News Release

グローバル・ウェルス・レポート 2025: 世界の富は 2024 年さらに拡大

経済の潮目が変わった 2024 年においても、世界の個人資産は拡大の傾向を維持しました。グローバル・ウェルス・レポートの 2025 年版では、世界の資産が 4.6% 増えたという事実の報告に加え、それらの富がどこにあり、なぜ成長しているのかについて考察を行っています。EMILLI (本レポートでは、資産額が 1~5 百万米ドルの層を EMILLIs (Everyday MILLionaires) と定義しています) の台頭から米国の富裕層の状況まで、本年度のレポートでは、世界における今日の多様で活力に満ちた富の形成に焦点を当てています。

全世界の富は、好調だった 2023 年に続き、2024 年も増加しました。しかし、増加の速度はすべての地域で同様というには程遠いものでした。北米の資産は 11% 増加するなど、寄与の過半が米州に由来するというように大きく偏っていました。通貨米ドルの安定、経済の上昇基調がその主要な要因と考えられます。アジア太平洋地域 (APAC) とヨーロッパ、中東及びアフリカ地域 (EMEA) は水をあけられた格好で、それぞれ 3%、0.5% の増加にとどまりました。

第 16 回目となるグローバル・ウェルス・レポートのハイライトは以下の通りです:

- 2024 年、平均で最も資産を有しているのは北米の成人 (593,347 米ドル) で、オセアニア (496,696 米ドル)、西ヨーロッパ (287,688 米ドル) と続きます。
- 他方、調査を行った 56 市場のうち半数以上で、米ドル換算での成人一人当たりの資産はむしろ減少していました。
- スイスは引き続き、成人一人当たりの個人資産保有額でトップとなりました。米国、香港、ルクセンブルクがこれに続きました。
- デンマーク、韓国、スウェーデン、アイルランド、ポーランド、クロアチアでは、平均資産額において二桁成長となる大きな伸びを記録しました (各現地通貨で計算した場合)。
- 2024 年、米ドルベースでのミリオネアの数 は 1.2% 増加しました。前年比で 684,000 人を超える増加であり、米国では 379,000 人以上の新たなミリオネアが誕生しました。1 日に 1,000 人以上のミリオネアが誕生したことになります。
- ミリオネアの数が多かったのは、米国、中国、フランスで、特に米国には世界のミリオネアの約 40% が居住しています。
- 過去 25 年で、世界の富は全体としても、また地域別に見ても着実な成長を遂げています。世界の個人資産は 2000 年来、年率で 3.4% 増加しています。
- これまで成人一人当たりの保有資産規模で最大の層であった資産 10,000 米ドル未満の層の人数が、資産 10,000~100,000 米ドルの層の人数に追い抜かれるという現象が、この 10 年で起きています。
- 本レポートでは、成人一人当たりの平均資産額は、米国、大中華圏、ラテン・アメリカ、アセアニアに牽引され、向こう 5 年でさらに増加すると予測しています。

Table 1: Top 25 in average wealth per adult (USD)

Numbers in parentheses indicate the position held in 2023

2024		
Switzerland (1)	687,166	①
United States (4)	620,654	②
Hong Kong SAR (3)	601,195	③
Luxembourg (2)	566,735	④
Australia (5)	516,640	⑤
Denmark (6)	481,558	⑥
Singapore (8)	441,596	⑦
New Zealand (7)	393,773	⑧
Netherlands (12)	370,697	⑨
Norway (9)	368,410	⑩
Canada (10)	365,953	⑪
Belgium (11)	349,404	⑫
United Kingdom (13)	339,700	⑬
Sweden (15)	334,391	⑭
Taiwan (16)	312,075	⑮
France (14)	301,503	⑯
Israel (18)	284,224	⑰
Ireland (20)	258,357	⑱
Germany (17)	256,715	⑲
South Korea (21)	251,223	⑳
Austria (19)	243,473	㉑
Spain (22)	233,739	㉒
Italy (24)	214,663	㉓
Japan (23)	205,221	㉔
Finland (26)	183,367	㉕

Table 2: Top 25 in median wealth per adult (USD)

Numbers in parentheses indicate the position held in 2023

Luxembourg (1)	395,340
Australia (2)	268,424
Belgium (3)	253,539
Hong Kong SAR (4)	222,015
Denmark (6)	216,098
New Zealand (5)	207,707
Switzerland (7)	182,248
United Kingdom (8)	176,370
Canada (10)	151,910
France (11)	146,017
Norway (9)	142,501
Netherlands (12)	131,896
Spain (15)	126,290
Italy (13)	124,473
United States (14)	124,041
Malta (19)	120,875
Taiwan (16)	114,871
Singapore (18)	113,976
Ireland (21)	105,626
South Korea (20)	104,067
Japan (17)	102,198
Qatar (22)	102,178
Finland (23)	94,794
Sweden (24)	89,430
Israel (26)	88,866

Source : UBS Global Wealth Report 2025

EMILLI(「平凡なミリオネア」)の台頭

本年度のレポートでは、成長を遂げながらも見過ごされていたセグメントである EMILLIs (Everyday MILLlionaires=「平凡なミリオネア」; 資産が 100-500 万米ドルのミリオネア)に注目しています。このセグメントに属するミリオネアの人数は 2000 年比で 4 倍以上に膨れ上がり、2024 年末で 5, 200 万人となりました。

このセグメントが保有する資産の合計は 107 兆米ドルにまで拡大してきました。保有資産 500 万ドル超のセグメントの資産合計 119 兆米ドルに迫る勢いです。このセグメントの急成長の要因として、不動産価格の上昇や為替レートの影響が挙げられます。地域の差異こそあれ、この EMILLI 層の長期的な成長トレンドは世界的にみられる傾向です。

資産配分、世代別資産感、資産移動

本レポートはまた、米国における世代間の資産配分の考え方の違いについても論じています。1981 年以降に生まれた、いわゆるミレニアル層は耐久消費財や不動産資産に最も資産を配分する傾向があり、また未公開企業への投資にも積極的です。ベビーブーマー(1946 年～1964 年生まれ)は純資産 83 兆ドルを有し、ジェネレーション X(1965 年～1980 年生まれ)やサイレント・ジェネレーション(1945 年以前生まれ)、ミレニアルと比べ、その保有資産額は突出しています。また、資産配分は地域によって大きく異なっていました – 本レポートで取り上げているところでは、米国は金融資産、オーストラリアは不動産、シンガポールでは保険や年金への配分が最も多いという違いがみられました。

今後 20-25 年を展望すると、83 兆米ドル以上の資産が移動(相続)すると考えられています。このうち 9 兆米ドルが水平(配偶者へ)移動し、74 兆米ドルが次世代へと引き継がれます。最も多額の資産の移動が予想されるのは米国(29 兆米ドル超)で、ブラジル(約 9 兆米ドル)、中国(5 兆米ドル以上)と続きます。

イクバル・カーン(UBS グローバル・ウェルス・マネジメント部門 共同最高責任者)

「経済が急激に変化し、ボラティリティが高まり、これまで経験したことがないような市場の推移がみられる時代に、資産形成の動向や要因を理解することはこれまでも増して重要になっています。第 16 回目となるグローバル・ウェルス・レポートで弊社は、世界 50 を超える市場における資産の形成と配分について明確で詳細なデータ、そして今後起こりうることについての意義深い洞察をご提供しています。」

ロバート・カロフスキー(UBS グローバル・ウェルス・マネジメント部門 共同最高責任者)

「世界中で富が拡大することが予想されている中、変化に富み複雑な金融環境において資産を管理する能力は一層重要になってきました。戦略的な知見と専門的な助言が求められます。世界中に拠点を有し、一方で各地域に深く根差す UBS が、お客様が機会を捉え、的確な情報に基づく判断をし、ご資産を安全に次世代へと引き継ぐお手伝いをいたします。」

ポール・ドノバン(UBS グローバル・ウェルス・マネジメント部門 チーフ・エコノミスト)

「『ウェルス』は単に経済的の指標であるにとどまらず、今や社会的、政治的な影響力を持つに至ったと言えることができるでしょう。資産がどのように配分され移動するかに応じて機会や政策、ひいては社会の発展が形作られるからであり、公的債務が増大するこの第 4 次産業革命の時代を生き抜くうえで重要な指針なのです。今年度のレポートでは、資産所有権の先進的な移動、とりわけ女性の影響力の高まりと長期的資産の変わらぬ重要性が特に目を引きました。」

[『グローバル・ウェルス・レポート 2025』フル・レポートを\(英語\)を読む](#)

[グローバル・ウェルス・レポート 2025 の日本の調査結果\(日本語\)を読む](#)

グローバル・ウェルス・レポートについて

グローバル・ウェルス・レポートは過去 16 年にわたり富裕層個人の資産についての考察を提供し、今や世界の富の形成に関心を寄せる人々の重要な参考文献となりました。本レポートで結果を報告している最新の調査では、世界の個人資産の 92% 以上をカバーする 56 の市場で調査を行いました。

UBS について

UBS は真にグローバルなウェルス・マネジメントのリーダーであり、スイス国内有数のユニバーサル・バンクです。アセット・マネージャーとして多岐な運用ソリューションを提供し、また、専門的な証券事業を擁しています。クレディ・スイス買収を経て、2024 年第 4 四半期現在の投資預かり資産は 6.1 兆米ドルに上ります。UBS は、お客様に個別に提供される投資アドバイスやソリューション、投資商品を通じて、お客様が投資目標を達成するためのサポートをしています。スイスのチューリッヒに本拠を置く UBS は、世界の主要金融センターを含む 50 以上の市場で事業を展開しています。UBS グループ AG の株式はスイスおよびニューヨークの各証券取引所に上場されています。日本においては UBS 証券株式会社、UBS 銀行東京支店、UBS アセット・マネジメント株式会社、UBS ジャパン・アドバイザーズ株式会社、UBS SuMi TRUST ウェルス・マネジメント株式会社の五法人を通じて、法人、機関投資家及び富裕層個人のお客様向けに様々な金融商品とサービスを提供しています。

メディア関連のお問い合わせ先

UBS 証券株式会社

広報部

sh-ubs-japan-media-relations@ubs.com

03 5208 6600

www.ubs.com/Japan